

三宅島ふるさとだより NO. 35

発行日 平成 25 年 3 月 1 日 発行者 三宅島ふるさと再生ネットワーク 会長 佐藤就之 090-4922-0798
本部；〒100-1101 東京都三宅島三宅村神着 320-2 事務局：〒173-0005 東京都板橋区仲宿 2 5-6

「三宅島NLP空港建設反対」石原発言に会長談話 島民は結束して平和な三宅島の再生・復興を！

～「貧すれば鈍する」との格言あり。各界・各業界リーダーは、前回の誤りを繰り返し島内対立の原因をつくり、村民を苦しめないで下さい～

石原慎太郎日本維新の会共同代表が衆議院予算委員会で三宅島に米軍基地「NLP」建設を提案した件に対して、ふるさとネット佐藤就之会長は、2月25日、次の談話を発表しました。

NLP設置反対の早期表明を

噴火災害の再生・復興に取り組む全島民の結束を阻む「NLP設置」に反対し、三宅村が取り組む「～火山と共に生きる、新たな島づくり～『あなた（ワレ）が笑顔で暮らす島』を目指して」（第5次三宅村総合計画）などを推進しましょう。

2月12日の石原氏の三宅島NLP設置発言は、前回と同様、島内外で無用な対立、混乱と疑心暗鬼を生じさせ、三宅島災害の再生・復興に多大な障害要因となります。

従って、早期に櫻田村長と村議会は、反対表明をしてください。

長谷川元村長は、島内対立の解消努力

1982年8月に米側は関東に訓練所を要請。83年9月14日に八丈町議会が「八丈島空港を着艦訓練に利用することに反対する」意見書を全会一致で採択して混乱を回避しました。

三宅島では、同年10月3日阿古地区噴火、12月21日、NLP設置促進を賛成12、反対2で強行採決。激しい反対運動で島内は抜き

差しならない対立と相互不信を長年招きました。その後、03年には、広島県大黒神島町長が誘致表明、反対にあい7日後辞任。

島では2000年7月20日着任した、三宅島建設工業株式会社、村会議員の長谷川鴻氏が村長に立候補するにあたり「三宅島NLP空港建設に反対する会」一員の浅沼修五村議（三宅で校長など歴任）宅に訪ねて来て以下のように述べたと私は先生に直接聞きました。反対する会では一部に信用出来ないと別の人を村長候補にとの意見もでたが、先生が長谷川氏にまとめた経緯も私は承知しています。

私は、その長谷川氏の立候補の目的の要旨と故人となり追悼の一文をふるさとネットのホームページに「それぞれの帰島 悲しみをのり越えて」で紹介しています。（2005年7月24日記）

「私も7日の告別式に参列をしたが、友人代表の弔辞に感銘をした一人である。二人の友人は曰く。村長立候補動機として、20年間島の結束を阻害してきた問題を自分の責任で根こそぎ解消したい。現在も存続する島のNLP誘致の防衛庁の事務所の撤去を自民党の防衛関係議員に働きかけることを依頼した、との秘話をお話になった事である。これらを総合しても、村民と対話する勇気を充分持ち合わせた人物であったと思われる。ご健勝であつたらと残念でならない。合掌」

この内容は、故修五先生のお話通りでした。村議、建設関係者などが、この故長谷川村長

の意思を継ぎ対処すれば、石原発言による混乱は回避でき島内結束のもと困難であるが三宅島の再生・復興は出来ると思います。

格言の「貧すれば鈍する」(人は貧乏をすると、頭の働きまで鈍くなってさもない心をもつようになるということ)または、放置すると神浦元彰軍事ジャーナリストが指摘するように「海自OB(防衛省・自衛隊OB)のグループと、政治家や企業人を結ぶ防衛利権コネクション」などの「火事場泥棒」(ごたごたにつけこんで不正な利益を得ること。また、その人。火事どろ)の暗躍を許すことになります。

私たちが心したいことは、論語の「貧して樂しむ」(貧乏であっても天命に安んじて道を修めることを楽しむ。君子の理想的境地を言う)です。

なぜ噴火島に帰るのと問われれば、噴火災害は島の天命と想い雄山を恨まず暮らしを立てることです。

お金が命、一番好きな人は、内地で頑張り稼ぎなさい。

三宅島は噴火があり財産は大きな被害を受けるのです。この噴火を受け入れても戦争と基地は大嫌いで、人の和と平和が好きなのです。

石原発言の要旨は？ NOです！

2月12日の衆議院予算委員会で石原慎太郎日本維新の会共同代表(前都知事)は、質問に立ちました。石原氏は、冒頭に自分から「暴走老人」の「国民への遺言のつもりだ」と自論を述べたてました。

その中で再度、三宅島へNLP(米空母艦載機夜間発着訓練基地)の建設誘致を提案すると「暴走」発言が飛び出したのです。

聞いた島民は、我が耳を疑い、あいた口がふさがらないほど驚いたといえます。

島民に聞いたかと聞くと「ウソでしょ」。「もうあのような辛い思いはしたくない」と言っています。

私もテレビを見ていないので念のため「衆議院予算委員会速記録(議事速報)」を手に入れ石原発言を確認しました。

その要点を上げてみます。「」は速記録引用。

①前は自民党藤尾政調会長が「三宅島へ行っても威張りまして、つくってやるみたいな言い方をするから島民が反発して、結局、島民の投票結果は僅差で負けたんですよ」

②「私、知事になったばかりのときに、三宅島も災害で島民が避難するような事態があったんですが、そのときに、当時のベーカーというアメリカの大使、昔から知っていて仲がよかったので、彼をヘリコプターに乗けて、招待して、ピクニックを兼ねて行って、これはどうだと言ったらベーカーが喜んで、これはもう絶好じゃないか、何でこれができないんだろうかと言うから、それは君らの次第、日本の政府次第でと」

③「NLPを三宅でやれば、燃料も食わない。今、硫黄島でやっているんでしょう。こんなばかな支出は必要ないと思うので、これはやはり、もう一回私も努力しますが、島のためにもなるし、アメリカにも好ましいこと。」

④「今度村長も変わりましたので、前の村長にも話しましたが、場所を選べば、全然、とにかく騒音の被害も何もない地形があるんですよ」

⑤「三宅島の窮状を見て三宅島の地ならしもしましたし、とにかく、これはもう一回提案するというのをアメリカ側にも話していただきたい」などの発言をしました。

政府答弁は、具体的には、小野寺国務大臣が「NLPにつきましては、今、防衛省としましては、馬尾島を中心にさまざまな調査をおこなっている」と答弁しました。

馬毛島(マゲシマ)とは？

鹿児島県西之表市・馬毛島は、8.2k平方mの無人島。四国の南方、種子島、屋久島に近く熊毛地域とも言う。硫黄島とも並ぶ。周辺を陸海空自衛隊の拠点として活用して、馬毛島を在日米軍の空母艦載機離着陸訓練(FCLP)移転候補地として日米共同文書に明記されています。周辺地域では、「米軍基地馬毛島移設問題対策協議会」が住民生活を混乱させていると反対署名、要請行動を行っています。(終)